

ふたみきた

平成31(2019)年2月1日
2月号
明石市立二見北小学校
学校だより 第431号



『モッタイナイ!』食べ物はすべて命です 校長 赤松 弘一

今年は暖冬と言われます。確かにプールにはまだ一度も氷が張っていません。昨年は何度も凍って日中も融けなかったことを思えば、暖かいといえるでしょう。2月3日は節分です。季節を分けるという意味があります。その翌日は立春で、季節は暦の上では冬から春へ移ります。確かに陽射しは力強くなり、日の暮れも遅くなってきました。しかし、この頃は一年で最も寒い時期に当たります。まさに「春は名のみ 風の寒さや」です。

節分と言えば、邪気を払うための「豆まき」神事が昔から行われてきました。最近では恵方巻(巻き寿司)を食べるといのが広まっています。これも何か昔から伝わる神事のように思われるかもしれませんが、実は海苔を扱う関西の間屋さんが始めたものだといわれています。チョコレートの販売促進のために始まったバレンタインデーと同じですね。日本には二十四節気、七十二候というものがあり、古くから季節に応じた農事、神事が行われてきました。節分や立春もその一つで、それぞれに生活の知恵から生まれ、人々の中に根付き伝わった文化と呼べるものです。一方で、近年その成り立ちやいわれがはっきりしないものが、「みんながするから」ということで付和雷同的に広まったものもあるようです。それらはネットやSNSによって驚くべき速さで拡散し、話の出どころやそれが真実なのかどうかは置き去りにされたまま、情報だけが広まり共有されていきます。

昨年末には多量のクリスマスのケーキや節分の恵方巻が売れ残って廃棄処分されていることが問題になりました。多量の食糧を輸入に頼る一方、世界トップクラスの食糧廃棄国でもあるのが日本です。スーパーやコンビニにはため息が出るほどの多種多様な食品が並んでいますが、売れ残った生鮮品の多くは時間が来ると廃棄されています。世界中で食料が足りていない地域がたくさんあります。日本でも食糧難の時代があったのはそんなに昔ではありません。豊かさに慣れきってしまった私たちの意識を変えていく必要を感じます。食べ物はすべて命あるものからできているのです。

1月末に明石市民広場で開催された学校給食作品展を見てきましたが、食べることの大切さとともに、命への感謝の気持ちを忘れないでいたいと思いました。

さて、本年度最後のオープンスクールを2日(土)に実施いたします。ご多用な折ではございますが、ぜひ今年度の子供たちの成長を見ていただきたいと思います。体育館では北っ子造形展が開催され、学年ごとのテーマに沿った平面作品(図画)と立体作品(図工)を展示しています。子どもたちの個性あふれる表現、そして工夫が光る力作をご鑑賞ください。



児童作品 (給食作品展)

今月の予定

日	曜	
1	金	
2	土	オープンスクール 月曜時間割 弁当日
4	月	オープンスクール代休
5	火	代表委員会 きらきらの会 (2年)
6	水	朝会 Fタイム (サークル)
7	木	
8	金	ペア活動 (1年・6年) 市内書初め展 (~2月11日まで)
12	火	中学校体験DAY・二見中一日入学 (6年及び保護者・午後)
13	水	Fタイム (クラブ)
14	木	きらきらの会 (3年) 4,5年児童会役員選挙
15	金	一日入学・入学説明会 (来年度1年生及び保護者) 子ども安全の日
18	月	出前授業 (3年)
19	火	きらきらの会 (6年)
20	水	
21	木	
22	金	校外学習 (3年) 二見中合唱部と6年生交流会
25	月	教育相談日
26	火	スクールカウンセラー来校日
27	水	
28	木	きらきらの会 (5年) 明石っ子造形展~3日まで
3月の主な行事予定		6日:朝会 感謝の集い 児童会役員引き継ぎ式 Fタイム (サークル) 7日:6年生を送る会 12日:6校時授業 (3年生以上) 15日:子ども安全の日 18日:給食最終日 学年末大掃除 19日:卒業式準備 (5年弁当日) 20日:卒業式 (1~4年家庭学習日) 22日:修了式

全校集会 北っ子の集い

1月24日に全校集会「北っ子の集い」が体育館で行われました。寒い時期の開催であることから、全校がマスクや防寒着を着用して健康に配慮して行いました。クラス、サークル、個人などオーディションで合格した各団体が出場しました。ピアノ、ダンス、劇など様々なジャンルの発表があり、大いに盛り上がりました。



2年生 鑑賞「スーホの白い馬」

国語教材『スーホの白い馬』に出てくる楽器の馬頭琴の演奏などを聴く鑑賞会が行われました。モンゴルの遊びなども教えていただき、物語と舞台になっているモンゴルのことについて学ぶよい機会となりました。馬頭琴の楽器のつくりを教えていただいたり、楽器の音色を聴いたりする事ができたので物語の学習に生かしていきたいと思えます。

今日の三時間目にモンゴルのべん強をしました。モンゴルのでんとうあそびと、がっきのしょうかい、クイズをしました。どうぶつのほねをかた手でキャッチするあそびでは、レベル1～レベル3まであり、ぼくは、レベル1ができました。いつかモンゴルに行くときは、このでんとうあそびを見せたいです。また、たくさんのおもしろいことを楽しめたので、モンゴルの人たちに「ありがとう」をつたえたいです。(2-1)

わたしは馬頭琴を聞いて感じたことが3つあります。それは、馬頭琴の音がギターのような音だと思っていたけど、やわらかくて丸みのある音だと感じました。もう一つは、馬頭琴のげんは馬のしっぽの毛でできていることにおどろきました。毛の本数にもおどろきました。さいごはだいひょうの人が12人ひいていたけど、みんなそれぞれちがうきれいな音になってかんどりました。これからの学習にいかしたいです。(2-2)

馬頭琴の音楽は、とてもきれいな音色でした。馬頭琴は、馬のほね、かわ、しっぽとかをつかっていることが分かりました。手の形が、今まで見たことないようなごきでした。「こんにちは」のことを「サインバイノー」ということが分かりました。

そして、きょうのべんきょうしたことも、国語でいかしたいと思いました。(2-3)



防災教育

1995年1月17日、決して忘れることのできない、「阪神・淡路大震災」が起きました。今年はその震災から24年が経ちます。大震災での体験を風化させることなく、子どもたちに災害について伝えるとともに、その教訓を生かしていけるよう、学校では防災教育を行っています。



1月17日には、明石市シェイクアウト訓練に参加し、運動場へ避難して震災時の話や校長先生の話をお聞きしました。児童は防災行政無線放送をよく聞いて、その場で机の下に隠れて身を守るための安全な行動をとり、静かに素早く避難することができました。

給食では、「震災を考える給食」として、おむすびや豚汁などの震災メニューをいただきました。子どもたちは自分でラップを使っておにぎりを作り、水が出なくなった時の工夫を体験しました。



1月17日に講師の先生をお招きして5・6年生が地震に関する講話をお聞きしました。震災の後に実際に避難所となった小学校の写真などをスライドで見ながら地震から命を守る方法について教えていただきました。震災の恐ろしさを改めて感じ、防災についての意識を高めることができました。

